

Q 避難退域時検査では何をするの?



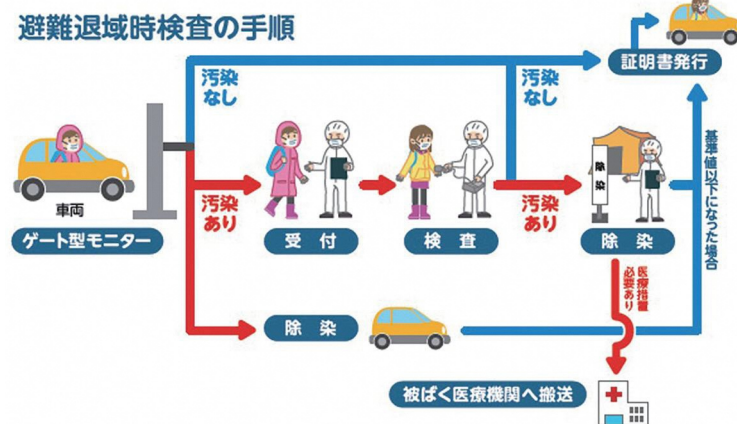
A 避難退域時検査では、避難等を行う方々の車両、衣服や身体が放射性物質に汚染されていないか調べる検査を行います。

はじめに、自家用車やバス等の車両を、ゲート型モニター等を使って放射性物質の付着状況を検査します。検査結果が一定の基準値を超えた場合には、その車両は放射性物質による「汚染あり」と判断されます。

次に、「汚染あり」となった車両に乗っていた避難者に対して、可搬型測定器等を用いて検査を行います。まず代表者のみに検査を行い、その結果が基準値を超えた場合には、同乗していた全員に対して検査を行います。基準値を超えた避難者は「汚染あり」と判断されます。

「汚染あり」と判断された車両や避難者に対しては、放射性物質をふき取ったりブラシでこすり落としたりする除染を行います。もし、専門的な治療が必要な方がいれば、指定された医療機関に搬送します。

「汚染なし」と判断された、又は、除染により基準値以下となった車両と避難者は、検査済みであることの証明書「検査済証」を受け取って、避難先に向かいます。



浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中（令和4年1月～3月）、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和4年8月20日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局

静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス：<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス：<http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>

この印刷物は、76,500部発行し、1部あたりの制作・印刷経費は4.8（小数点第2位四捨五入）円です。

原子力だより No. 193



ゲートモニターでの車両検査



簡易除染作業



乗員の検査



検査済証の交付

静岡県は、3月14日に、県の原子力防災センター（牧之原市坂口）周辺で避難退域時検査場所の運営研修を行いました。

避難退域時検査とは、避難等を行う住民等の放射線物質による汚染状況を確認するために、県等が検査場所を開設して実施する検査のことです。

令和4年1月～3月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るため行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和4年1月から3月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

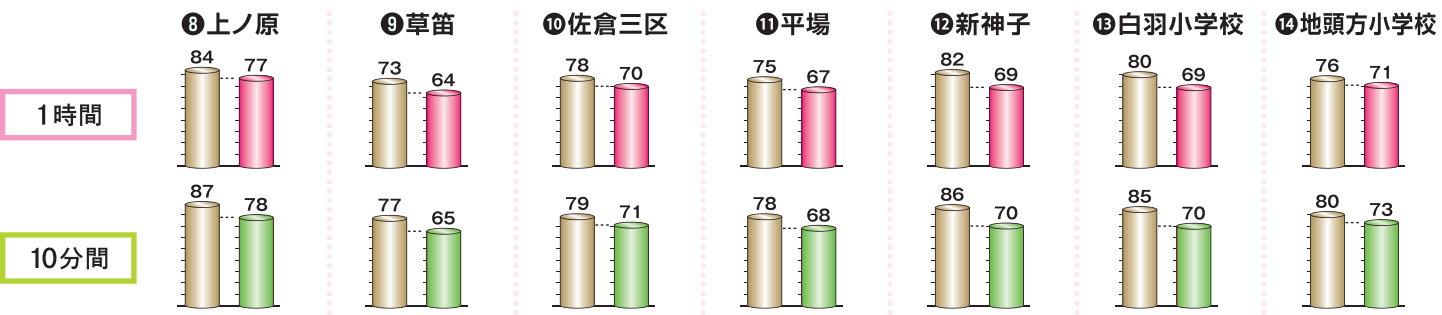
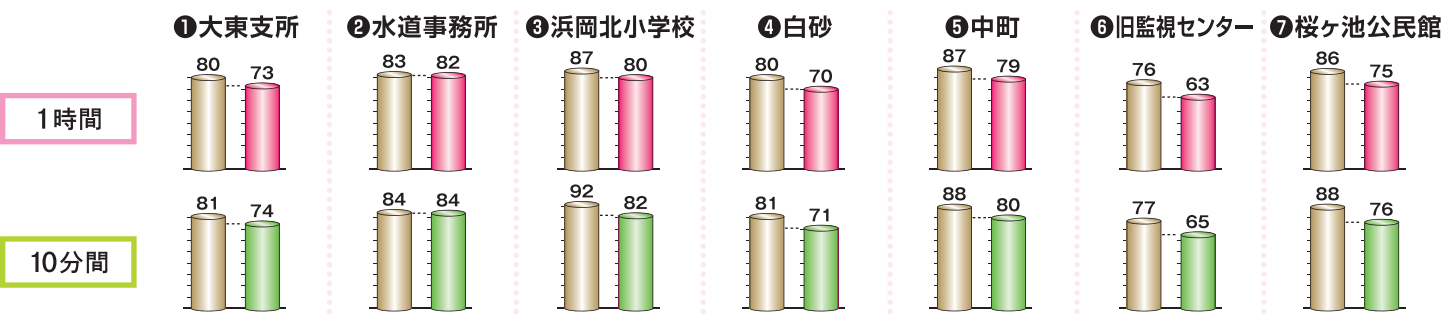
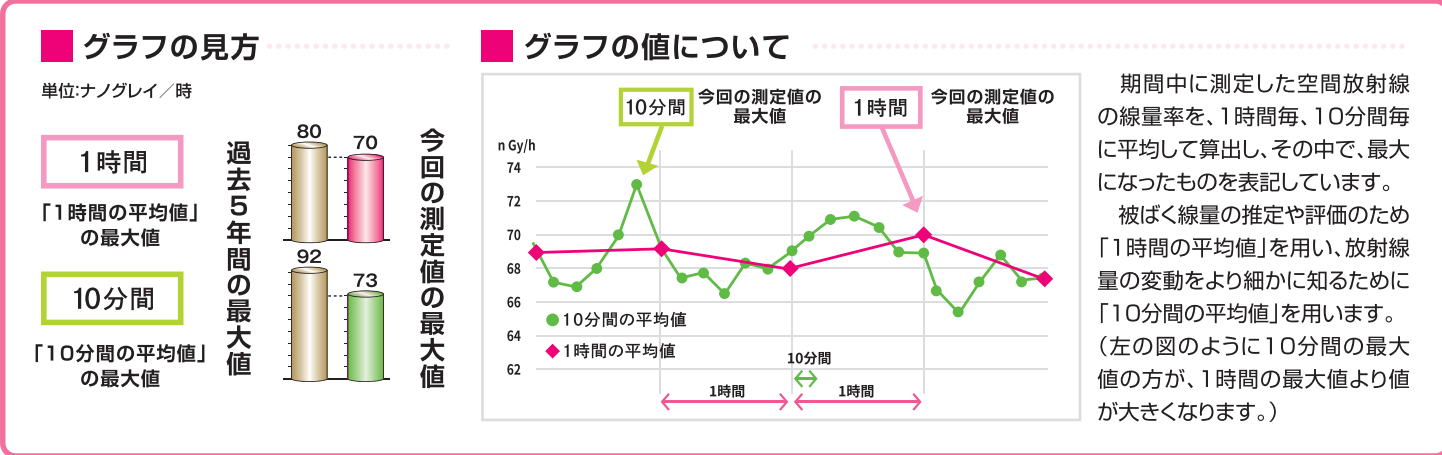
今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力 福島第一原子力発電所の事故等による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

（詳細は次ページ）

令和4年1月～3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値 および 10分間平均値の最大値）

モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和4年1月から3月の間の測定結果で過去5年の最大値を超えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。



測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvと推定されます。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）
※新版 生活環境放射線（国民線量の算定）平成23年12月（原子力安全研究協会）から引用

農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和4年1月から3月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準*等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力 福島第一原子力発電所の影響によるものと推定しました。

※測定した13試料44検体のうち、2試料3検体（キャベツ2検体、ひらめ1検体）*食品衛生法に基づく基準値(参考欄参照)

代表的な試料の放射性セシウムの測定値の最大値

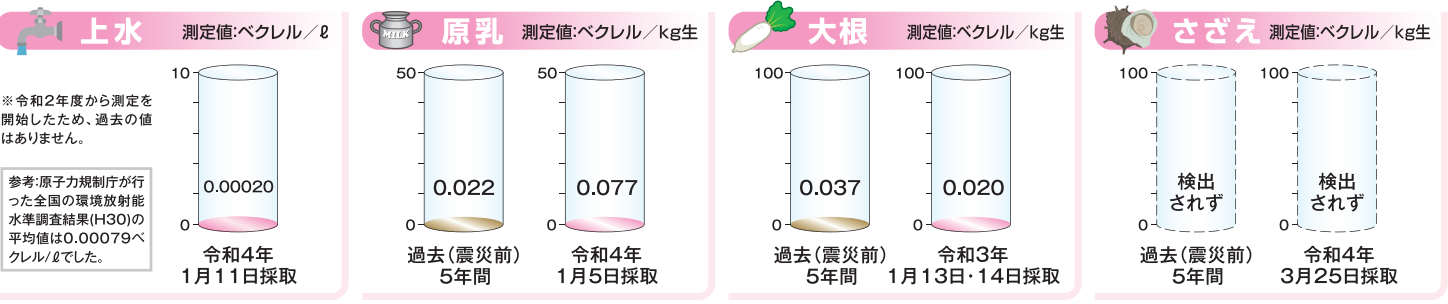


参考

食品衛生法に基づく食品の放射性セシウムの基準値

食品群	基準値 (Bq/kg)
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100

代表的な試料の放射性ストロンチウムの測定値の最大値



放射能調査に用いる単位

■グレイ (Gy) …… 放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位	《参考》ミリ(m) …… 1/1,000	千分の1
■シーベルト (Sv) …… 吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位	マイクロ(μ) …… 1/1,000,000	百万分の1
■ベクレル (Bq) …… 放射能の強さを表す単位	ナノ(n) …… 1/1,000,000,000	10億分の1